

USB2.0 LINK CABLE

最初に
ご確認ください。

セ
ン
タ
ル
内
容

USB2.0リンクケーブル 1本

取扱説明書(本書) 1部

万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡してください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

1	目次
	はじめに
2	取り扱い上のご注意
3	動作環境
	USBに対応したパソコンかどうか確認するには
4	接続例
5	使い方
	・WindowsXPの場合
6	・Windows2000の場合
7	・WindowsMeの場合
8	ファイル転送ソフト「ThunderBird」の操作
12	取り外し方
	・WindowsXPの場合
14	・Windows2000の場合
15	・WindowsMeの場合
17	Q&A
	仕様
18	パソコン環境チェック

はじめに

このたびは、USB2.0リンクケーブルをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品はUSB2.0の環境で動作するパソコンどうしを接続して、専用ソフトでファイル転送を行うためのケーブルです。

ファイル転送用のソフトウェアは本製品内に書き込まれているので、新しくソフトをインストールする必要はありません。

本製品をご使用になる前に必ずこのマニュアルをよくお読みください。

本書の内容を許可なく転載することは禁じられています。

本書の内容についてのご質問や気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。

本書の内容については予告なしに変更することがございます。

本書に記載しているソフトウェアの画面やアイコンなどは実際のものと異なることがあります。

取り扱い上のご注意

本製品は電気で動作しておりますので、発火する危険があります。万一煙が出たり異臭がしたりした場合は、本製品及び接続しているコンピュータや機器の電源を切り、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

雷が鳴っているときに、本製品やパソコンに触れないでください。

落雷により感電する恐れがあります。

本製品のカバーを開けたり、分解したり、加工したりしないでください。

故障や感電の原因となることがあります。

濡れた手で本製品に触らないでください。

本製品がパソコンに接続されているときや、ACアダプタがコンセントに接続されているときには、感電する恐れがあります。

本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。

感電や火災、故障の原因となることがあります。

本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。

故障・破損などの原因となることがあります。

本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、ほこりや湯煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり、保管したりしないでください。

故障・感電などの原因となることがあります。

本製品を重ねて設置したり、本製品の上に重いものを置いたりしないでください。

火災や故障の原因となることがあります。

本製品は不安定な場所に設置したり、保管したりしないでください。

落下により故障・破損の原因となることがあります。

本製品を抜き差しするときは、必ずコネクタ部分を持ち、無理な力を加えないでください。

故障・破損などの原因となることがあります。

本製品は、家具で踏みんだり、扉で挟んだりしないでください。また本製品のケーブルを引っ張ったり折り曲げたりしないでください。

火災や故障の原因となることがあります。

本製品のケーブル部分を束ねたままでは使用しないでください。

故障・破損などの原因となることがあります。

本製品のケーブル部の皮膜が傷ついたり、コネクタ部がぐらつくなどの異常がある場合には使用を中止し、新しいケーブルを購入、使用してください。

故障や感電の原因となることがあります。

本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。

塗装を痛めたり、故障の原因になることがあります。乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。

本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責任を負わないものとします。

本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。

定期的にはバックアップを取るなどの対策をあらかじめ行ってください。

本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されてありません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。

動作環境

パソコン:各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ、
USBポートを持ち、パソコン本体メーカーがUSBポートの動作を保証している機種。

(USB 1.1対応のUSBポートに接続した場合は、USB 1.1の転送速度(1.5 ~ 12 Mbps)にのみ対応します。)

日本語Windows98発売以前に発売されたDOS/VパソコンはUSBポートが正常に動作しない場合があります。機種により対応できないものもあります。

OS:

(USB 2.0環境)

Windows XP SP1以降(SP1以前の場合、Windows Updateでアップデートを行ってください。)

Windows 2000 SP3以降(SP3以前の場合、Windows Updateでアップデートを行ってください。)

Windows Me

Windows MeではUSB 2.0の動作環境がパソコン本体メーカー、USB 2.0インターフェースメーカーによる動作保証のある機種。

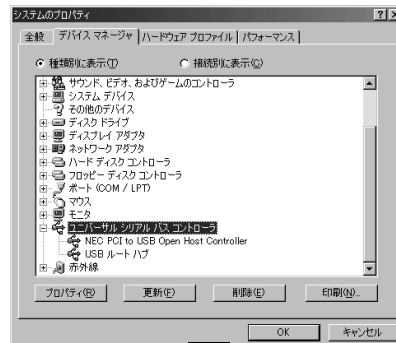
(USB 1.1環境)

Windows XP・2000・Me

USBに対応したパソコンかどうか確認するには

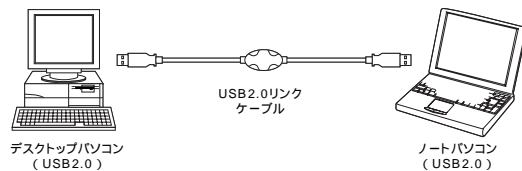
- 1.Windowsデスクトップ上の「マイコンピュータ」をマウスで右クリックしてコンテキストメニューを開いてください。メニューの中から「プロパティ」を選んで「システムのプロパティ」画面を開きます。
- 2.「デバイスマネージャ」タブをクリックして、「種類別に表示」にチェックマークがあることを確認してください。(Windows®XP・2000の場合「ハードウェア」タブをクリックして「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。)
- 3.一覧リストの中に「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」が表示されていればUSBに対応したパソコンです。

この表示がなかったり、この表示の下に「Host Controller」や「USBルートハブ」のアイコンに「x」や「！」のマークが付いている場合はUSBが正常に動作していませんのでパソコンのメーカーに相談してください。



接続例

USB 2.0パソコンどうしを接続



USB 2.0パソコンとUSB 1.1/1.0パソコンを接続



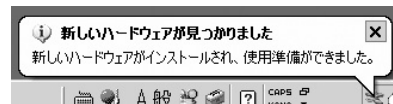
USB 1.1/1.0パソコンどうしを接続



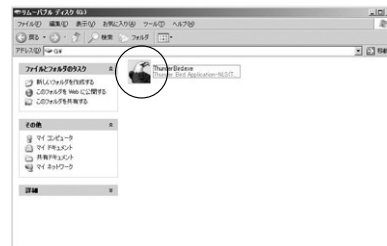
使い方

WindowsXPの場合

- 1.パソコンの電源をONにし、Windowsを起動させます。
- 2.WindowsXPが完全に起動した後で、USB 2.0リンクケーブルのコネクタをパソコンのUSBポートに接続します。
- 3.タスクトレイに「新しいハードウェアのインストール情報が表示され自動的に必要なドライバがインストールされます。」
OS標準のドライバソフトのみで動作するので、特別なソフトウェアを準備する必要はありません。
- 4.使用準備ができると以下のような表示になります。



- 5.しばらくすると「リムーバブルディスク (G:)」((G:) の表示はパソコンのドライブ環境によっては (E: X: F:) などと表示が変わります。) ドライブが表示され「Thunder Bird」のアイコンが確認できます。(下図)
リムーバブルディスク (G:) が表示されない場合には、「マイコンピュータ」をダブルクリックして、新しく追加された「リムーバブルディスク」をダブルクリックして開いてください。

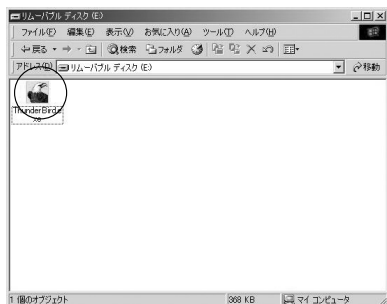


以上で、使用準備は完了です。ファイル転送を行うには「ThunderBird」(ファイル転送用) アイコンをダブルクリックしてください。

Windows2000の場合

- 1.パソコンの電源をONにし、Windowsを起動させます。
- 2.Windows2000が完全に起動した後で、USB2.0リンクケーブルのコネクタをパソコンのUSBポートに接続します。
- 3.新しいハードウェアのウィザードが自動起動し、必要なドライバが自動的にインストールされます。OS標準のドライバソフトのみで動作するので、特別なソフトウェアを準備する必要はありません。
- 4.しばらくすると「リムーバブルディスク(E:)」(「(E:)」の表示はパソコンのドライブ環境によっては「(F:)」「(G:)」などと表示が変わります。)ドライブが表示され「Thunder Bird」のアイコンが確認できます。(下図)

リムーバブルディスク(E:)が表示されない場合には、「マイコンピュータ」をダブルクリックして、新しく追加された「リムーバブルディスク」をダブルクリックして開いてください。



以上で、使用準備は完了です。ファイル転送を行うには「ThunderBird」(ファイル転送用)アイコンをダブルクリックしてください。

WindowsMeの場合

- 1.パソコンの電源をONにし、Windowsを起動させます。
 - 2.WindowsMeが完全に起動した後でUSB2.0リンクケーブルのコネクタをパソコンのUSBポートに接続します。
 - 3.新しいハードウェアのウィザードが自動起動し、必要なドライバが自動的にインストールされます。OS標準のドライバソフトのみで動作するので、特別なソフトウェアを準備する必要はありません。
 - 4.しばらくすると「リムーバブルディスク(G:)」(「(G:)」の表示はパソコンのドライブ環境によっては「(E:)」「(F:)」などと表示が変わります。)ドライブが表示され「ThunderBird」(ファイル転送ソフト)のアイコンが確認できます。(下図)
- リムーバブルディスク(G:)が表示されない場合には、「マイコンピュータ」をダブルクリックして、新しく追加された「リムーバブルディスク」をダブルクリックして開いてください。

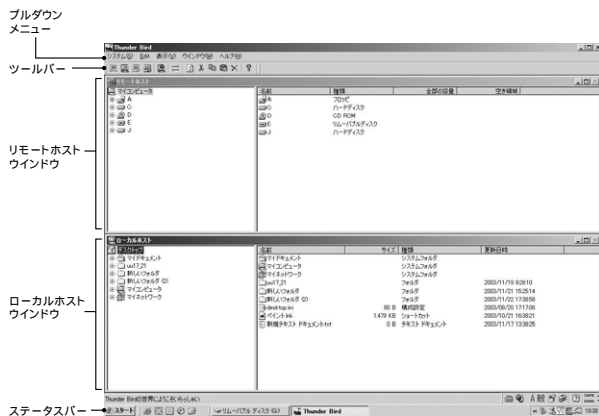


以上で、使用準備は完了です。ファイル転送を行うには「ThunderBird」(ファイル転送用)アイコンをダブルクリックしてください。

ファイル転送ソフト「ThunderBird」の操作

1. リムーバブルディスクの中の「ThunderBird」をダブルクリックして、「ThunderBird」(ファイル転送ソフト)を起動してください。
接続しているパソコン2台とも「ThunderBird」(ファイル転送ソフト)を起動させてください。

2. 「ThunderBird」(ファイル転送ソフト)の画面が表示されます。
この「ThunderBird」(ファイル転送ソフト)はWindowの「エクスプローラー」と同じようにファイルをドラッグ&ドロップで、コピーしたり、移動したり、消去したりすることができます。
ドラッグ&ドロップによるファイルのコピーは、リモートホストとローカルホストの間で行うことができます。



ファイル転送ソフト「ThunderBird」の操作 (続き)

プルダウンメニュー

システム・Edit・表示・ウインドウ・ヘルプの5つのプルダウンメニューがあります。マウスカーソルを各項目の上に移動させマウスをクリックするとメニューが表示されます。



「システム」

設定……………読み取り専用とすることが設定できます。(初期設定では常に読み取り専用で設定されていますので、書き込みを行う場合は下記のチェックマークをマウスでクリックして、消してください。)

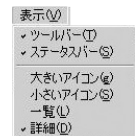


終了……………「ThunderBird」プログラムを終了します。



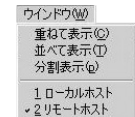
「Edit」

切り取り……………選択したファイルを切り取り、クリップボードに一時保存します。
コピー……………選択したファイルをクリップボードに一次保存します
貼り付け……………切り取り・コピーを行ったファイルを貼り付けます。
削除……………選択したファイルを削除します。



「表示」

ツールバー……………ツールバーの表示・非表示を切り替えます。
ステータスバー……………ステータスバーの表示・非表示を切り替えます。
大きいアイコン……………ファイルの表示を大きなアイコンにします。
小さいアイコン……………ファイルの表示を小さなアイコンにします。
一覧……………ファイルの表示を一覧表示にします。
詳細……………ファイルの表示を詳細表示にします。



「ウインドウ」

重ねて表示……………ウインドウを重ねて表示します。
並べて表示……………ウインドウをタイル状に並べて表示します。
分割表示……………ウインドウの分割の大きさを調整します。
1 ローカルホスト……………ローカルホストのウインドウをアクティブにします。
2 リモートホスト……………リモートホストのウインドウをアクティブにします。

「ヘルプ」

ThunderBirdの情報 「ThunderBird」ソフトウェアのバージョン情報を表示します。

ファイル転送ソフト「ThunderBird」の操作 (続き)

ツールバー



パソコンとUSB2.0リンクケーブルの接続状況を表示します。

- ・左のふたつはローカルホスト(パソコン)で、USB1.1あるいはUSB2.0どちらで接続されているかわかります。
- ・右のふたつはリモートホスト(パソコン)で、USB1.1あるいはUSB2.0どちらで接続されているかわかります。



ローカルホスト(パソコン)が読み取り専用となっているかどうかを表示します。



リモートホスト(パソコン)側から、データ転送状況(アップロード/ダウンロード)を確認できます。



表示されているWindowの内容を最新情報に更新します。



選択したファイルを切り取り、クリップボードに一時保存します。



選択したファイルをクリップボードに一次保存します。



切り取り・コピーを行ったファイルを貼り付けます。



選択したファイルを削除します。



「ThunderBird」ソフトウェアのバージョン情報を表示します。

ファイル転送ソフト「ThunderBird」の操作 (続き)

リモートホストウインドウ

通信をしている相手側のパソコンの内容を表示しています。

ローカルホストウインドウ

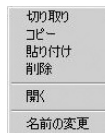
通信をしているこちら側(実際に操作をしている)のパソコンの内容を表示しています。

ステータスバー

プルダウンメニューやツールバーの内容を表示します。

コンテキストメニュー

右側のファイルWindow内にマウスカーソルがある時にマウスの右ボタンをクリックすると現れるメニューです。



切り取り……………選択したファイルを切り取り、クリップボードに一時保存します。
(リモートホストのファイルやフォルダは実行できません。)
コピー……………選択したファイルをクリップボードに一次保存します
貼り付け……………切り取り・コピーを行ったファイルを貼り付けます。
削除……………選択したファイルを削除します。
開く……………選択しているファイルやフォルダを開きます。
(リモートホストのファイルやフォルダは実行できません。)
名前の変更……………選択しているファイルやフォルダの名前を変更します。
新規のディレクトリの作成………新しいフォルダを作成します。

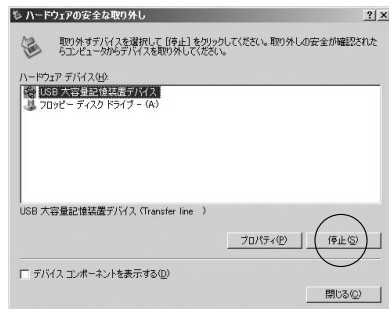
取り外し方

HOT Plug でのUSB2.0リンクケーブルの取り外し方
(電源ONの状態ですB2.0リンクケーブルを取り外す)
パソコンの電源を消してから取り外す場合にはこのような手順は必要ありません。

WindowsXPでのリンクケーブルの取り外し方

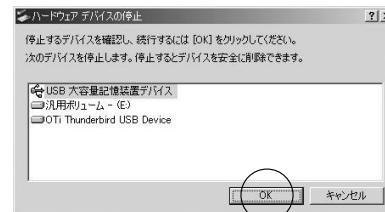
WindowsXP

- 1.ThunderBirdソフトウェアが起動していたら、終了させてから、リムーバブルディスクを閉じてください。
- 2.タスクトレイの「ハードウェアの安全な取外し」をダブルクリックしてください。
- 3.ハードウェアデバイスの一覧の中に表示されている「USB大容量記憶装置デバイス」を選択してから「停止」ボタンをクリックしてください。
「USB大容量記憶装置デバイス」がいくつもある場合には「デバイスコンポーネントを表示する」にチェックマークを付けて、コンポーネントの内容が「Oti Thunderbird USB Device」となっている「USB大容量記憶装置デバイス」のみを選択して、「停止」ボタンをクリックしてください。

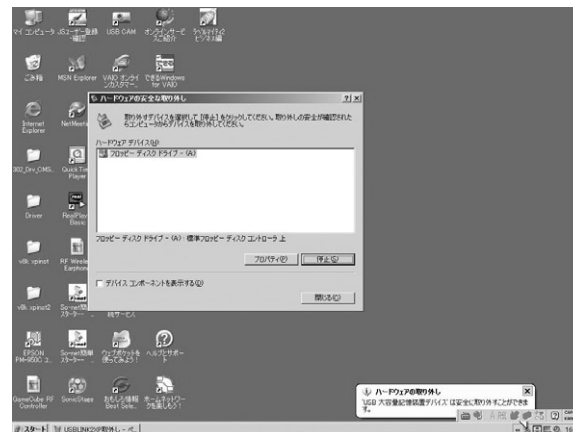


WindowsXPでのリンクケーブルの取り外し方 (続き)

- 4.以下の画面になるので、「OK」をクリックしてください。



- 5.タスクトレイ上に以下のようなメッセージが表示されます。



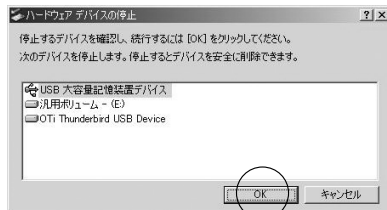
- 6「ハードウェアの取外し」の「閉じる」ボタンを押して閉じてください。
- 7.USB2.0リンクケーブルを接続しているパソコンのUSBポートから取り外してください。
もう一台のパソコンから、USB2.0リンクケーブルを取り外す時も、同じ手順で取り外してください。

Windows 2000でのリンクケーブルの取り外し方

1. ThunderBirdソフトウェアが起動していたら、終了させてから、リムーバブルディスクを開いてください。
2. タスクトレイの「ハードウェアの取り外し又は取り出し」をダブルクリックしてください。
3. ハードウェアデバイスの一覧の中に表示されている「USB大容量記憶装置デバイス」を選択してから「停止」ボタンをクリックしてください。
「USB大容量記憶装置デバイス」がいくつかある場合には「デバイスコンポーネントを表示する」にチェックマークを付けて、コンポーネントの内容が「Oti Thunderbird USB Device」となっている「USB大容量記憶装置デバイス」のみを選択して、「停止」ボタンをクリックしてください。

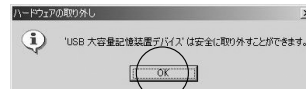


4. 以下の画面になるので、「OK」をクリックしてください。



Windows 2000でのリンクケーブルの取り外し方 (続き)

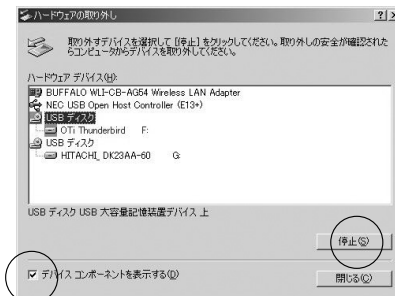
5. 以下の画面になるので「OK」をクリックしてください。



6. 「ハードウェアの取外し」の「閉じる」ボタンを押して閉じてください。
7. USB 2.0リンクケーブルを接続しているパソコンのUSBポートから取り外してください。
もう一台のパソコンから、USB 2.0リンクケーブルを取り外す時も、同じ手順で取り外してください。

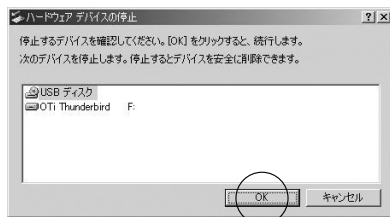
Windows Meでのリンクケーブルの取り外し方

1. ThunderBirdソフトウェアが起動していたら、終了させてから、リムーバブルディスクを開いてください。
2. タスクトレイの「ハードウェアの取り外し又は取り出し」をダブルクリックしてください。
3. ハードウェアデバイスの一覧の中に表示されている「USBディスク」を選択してから「停止」ボタンをクリックしてください。
「USBディスク」がいくつかある場合には下図のように「デバイスコンポーネントを表示する」にチェックマークを付けて、コンポーネントの内容が「Oti Thunderbird」となっている「USBディスク」のみを選択して、「停止」ボタンをクリックしてください。



Windows Meでのリンクケーブルの取り外し方 (続き)

4. 以下の画面になるので、「OK」をクリックしてください。



5. 以下の画面になるので「OK」をクリックしてください。



- 6 「ハードウェアの取外し」の「閉じる」ボタンを押して閉じてください。
7. USB 2.0 リンクケーブルを接続しているパソコンのUSBポートから取り外してください。
もう一台のパソコンから、USB 2.0 リンクケーブルを取り外す時も、同じ手順で取り外してください。

Q & A

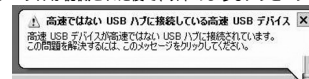
- Q 1. USB 2.0 リンクケーブルをパソコンに接続しても、正しく認識されずに「不明なデバイス」として認識されてしまう。

デバイスマネージャで「不明なデバイス」を削除してから、USB 2.0 リンクケーブルをパソコンのUSBポートから取り外して、再起動後に、もう一度取り付けてみてください。

- Q 2. 1台目のパソコンに接続して、正しく認識した後もう1台のパソコンに接続したら、後から接続したパソコンでは「不明なデバイス」として認識してしまう。

接続するパソコンの順序を入れ替えて、先に「不明なデバイス」と認識してしまったパソコンに接続してみてください。(このときには先に1の手順で「不明なデバイス」を削除してからにしてください。)

- Q 3. USB 2.0 リンクケーブルが認識された後で、以下のようなメッセージが表示される。



接続しているパソコンのUSBポートがUSB 2.0に対応していないのにこのメッセージが現れます。しかし、この場合でもUSB 1.1の速度では動作しますので、そのままご使用ください。USB 2.0の速度で動作させるためにはUSB 2.0をサポートしたポートとOSでご使用ください。

仕 様

インターフェース規格: USB仕様 Ver2.0準拠 (USB Ver1.1上位互換)

通信速度: 480Mbps・12Mbps・1.5Mbps 通信速度は理論値です。実効速度は遅くなります。

消費電流: 100mA以下

コネクタ: USB Aコネクタ(オス・オス)

ケーブル長: 約1.9m

重量: 約120g

対応機種: 各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ、

USBポートを持ち、パソコン本体メーカーがUSBポートの動作を保証している機種。

(USB 1.1対応のUSBポートに接続した場合は、USB 1.1の転送速度(1.5~12Mbps)にのみ対応します。)

日本語Windows 98発売以前に発売されたDOS/VパソコンはUSBポートが正常に動作しない場合があります。

機種により対応できないものもあります。

対応OS:

(USB 2.0環境)

Windows XP SP1以降(SP1以前の場合、Windows Updateでアップデートを行ってください。)

Windows 2000 SP3以降(SP3以前の場合、Windows Updateでアップデートを行ってください。)

Windows Me Windows MeではUSB 2.0の動作環境がパソコン本体メーカー、USB 2.0インターフェースメーカーによる動作保証のある機種。

(USB 1.1環境)

Windows XP・2000・Me